

<船橋英語連盟>

【事業提案型・3年目】

船橋市が国際都市にふさわしい親善や交流を行える資質のある市民を増やす。船橋市民として英語を通して国際感覚、外国人とのコミュニケーション力を身につける

【支援金確定額：74,735円 支援率：50%】

記入日：平成27年1月28日

■どのような活動をしている団体ですか？

市内で活動している4つの英語学習クラブを主体に、他8協力英語クラブの連盟である。各クラブが協力して、国際交流や外国人との親善を目的とした盛大な行事を実施している。行事を通して、各クラブの会員の英語能力及び外国人とのコミュニケーション力向上を図っている。また、市民に開かれた行事を提供することにより、船橋市民の方々が英語学習への関心や国際交流に興味を持つように働きかけている。26年度は5月にフィリピン料理会、11月に第29回英語フェスティバルを開催した。5年後の東京オリンピックを見据えて「おもてなし」について参加市民を巻き込みながら一緒に学んだ。



【第29回英語フェスティバル】

■事業立上型支援金をどのように活用されましたか？

英語料理会では、フィリピン人講師の招致の他、市内在住外国人数人と一般市民や英語学習者が料理を通して互いの食生活について情報交換ができたが、市内在住外国人の参加費を無料にすることができた。

英語フェスティバルでは、「外国人が求めるおもてなし」をテーマにした「基調講演」を行える英語力のある外国人ゲストを招致するため、色々な国からゲストを迎え交流するために市の補助金を充てることができた。また、行事の中で学習する上で必要な資料代がかかるが、参加し易い費用にすることができた。



【おもてなしについて英会話】

■事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

料理会では、調理後の試食会を講師や他のフィリピンの方とコミュニケーションを取りながら行った。日本との食生活の違いについての会話、質疑応答、フィリピンの歌を聞くなど、文化交流もできた。会員他参加の市民にも好評だった。

英語フェスティバルではテーマを「おもてなし」とすることで、主体的に参加者が熱心に討論することができた。在住外国人のスピーチから、各国のおもてなしを学び、日本のおもてなし精神の素晴らしさも再認識した会になった。各国の民族衣装を身につけて参加したり、英語落語寄席コーナーを持ち、文化の交流も盛大であった。



【フィリピン料理会】

■今後の活動の抱負について

3月に今年度の最後の行事「英語落語寄席」を行う。英語と落語に興味がある市民に毎回好評である。日本の娯楽文化の落語の楽しさを広め、外国人との交流をする落語寄席の企画は27年度も継続していく予定。英語学習を通して国際交流を行うフェスティバルは10月を予定。好評であったテーマ「おもてなし」を継続して学べる企画を含め、魅力あるイベントを行いたい。

今後も市民の方が、英語学習を通して国際交流に興味を持つきっかけとなるような行事を企画していく。市民の方がその後、英語学習を継続していけるよう、適切な助言を行えるようにしていきたい。

■問い合わせ先：理事長 長濱美知子（ながはまみちこ）

TEL：047-423-1220

E-mail: jeans_n@hotmail.com